

【課題1】

関係機関の埋まらない隙間で生じる重大事例
⇒ 地域支援ネットワーク
(要保護児童対策地域協議会)の強化

- 隙間のない連携のネットワークを作るには
 - 個別ケース会議は適時、適切に開催されているか
 - 参加機関は十分か
 - 情報の共有化、役割分担は適切に行われているか
 - アセスメント評価は共有化しているか
 - 情報の拘え込みによる連携の隙間が生じていないか
 - 進行管理会議は有効に機能しているか(全件確認の徹底)
 - 実務者会議は有効に機能しているか

■ 児童相談所と子供家庭支援センターのなど援助担当機関間の協働体制に隙間はないか

- 情報の共有化は図られているか、ケースの見立ては一致しているか
- 両機関の連携ルールは適切に運用されているのか
- 「情報提供」「送致」「援助要請」で生じる援助の隙間
- 児相と支援センターのNPO等は整合性が図られているか
- 児相の区市町村支援は十分行われているか

■ 医療、教育部門との連携が十分ではない

- 相談援助部門との連携は図られているか
- 保護者との摩擦を考慮して通告に躊躇する傾向はないか(通告のマニュアルができないか)
- 組織内での情報の共有化が十分図られているか
- 精神疾患を持つ親の主治医との連携は図られているか

■ 在守のハイリスク家庭、買合わせ家庭への支援が十分ではない

- 児童相談所の保護者指導は十分機能しているのか
- 援助機関の役割分担が不明確
- 地域の資源、民間団体等外部機関との連携は図られているか(地域資源、民間団体等の脆弱な現状)
- 見守りや親との関係、家庭支援に関する具体的技術が不足しているのでは?

第2回：10月3日 第3回：11月11日
※随時ヒアリング

【課題2】

虐待の未然防止策が進展していない
⇒ 地域における未然防止策、
要支援家庭の早期発見・支援策の推進

- 子育て不安群(虐待予備群)への支援が十分ではない
 - 虐待防止の観点から、地域の子育て支援部門のサービスを充実できないか
 - 子育て不安の解消が図れるようなサービスの提供
 - 子育て支援サービス機関と相談援助機関、保健機関との連携は十分図られているか
 - 要保護児童対策地域協議会における子育て支援部門(民間NPO等)の参加は図られているか
 - 地域の関係機関における虐待防止の取組は浸透しているか(民生児童委員、社会福祉協議会)
 - 虐待防止に関する地域への普及啓発が不十分では
 - 虐待の世代間連鎖を防止する地域支援
 - 障害を持つ子どもの親の支援は十分に行われているか
 - 難病を持つ子どもの親支援は十分に行われているか

■ 要支援家庭をより確實に早期発見するには

- 健診など母子保健事業を通じた要支援家庭の早期発見について、十分工夫ができていないか
 - (福祉部門に健診データなどが情報提供されるか)
 - (健診や予防接種を受けていない児童の把握の徹底)
- 各保健診や乳児家庭訪問を通じて把握した家庭は、要保護児童対策地域協議会につながっているか
- 妊婦健診未受診者、特定妊婦へのアプローチは図られているか
- ひとり親福祉部門、女性福祉(DV)部門と相談援助部門連携は十分図られているか
- 社会福祉事務所(被保護者世帯対応)との連携は図られているか

■ 子どもの成長に合わせたライフステージを通じての関係機関の連携が十分図られていない

- 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の情報の共有化は十分図られているか

第4回：2月3日 第5回：3月29日
※随時ヒアリング

【課題3】

増え続ける虐待相談件数、重篤化するケース内容への迅速的確な対応
⇒ 相談援助部門の機能強化

■ 対応困難ケースが増える中、相談援助機能をさらに進化するには(児童相談所)

- 医療機関からの通告ケースや要医療ケースが増える中で迅速、的確な対応が必要
- 困難ケースに関するガイドラインは作れないか
- 一時保護ケースの増等に伴ない、困難な保護者対応に追われる現状
- 児童相談所の調査権限の強化について(例えば条例化)
- 一人ひとりの子供について社会的責任を明確に
- 児童相談所の体制の強化について(虐待対応専門チーム等)

■ 介入型支援を支える人材確保・育成が困難【児相など】

- 経験年数の少ない児童福祉司(2年未満が34%へ)
- 人材育成(介入型支援のスキルアップ)をどう図るか
- 基幹職員(チーム)のプレイングマネージャーとしてのスキルアップが急務
- 燃え尽き症候群を防止するにはどのような方策があるか
- モチベーションアップの方策
- (⇒職員へのアンケート調査の実施を)

■ 区市町村の体制や対応力に温度差がある

- (【子供家庭支援センターなど】)
- ケースの見立てについて児童相談所と乖離はないか
- センター長や基幹職員の育成が課題
- 地域子育てサービスの内容が様々
- 支援センター内直営部門と民間委託部門の役割分担が適切に機能しているか

■ 援助機能強化のための連携

- 警察との連携強化をどう図るか
 - (⇒連携の成功事例はあるか)
 - 事件化の対応も必要となる重篤な虐待事例(身体的虐待、性的虐待など)
- 児童相談所機能の守備範囲の肥大化
 - (性行相談、愛の手帳相談から虐待対応まで)
 - 民間団体との機能分担を図れないか

第6回：5月頃 第7回：6月頃
※随時ヒアリング